

Title	表紙 ; 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学国文学研究室
Publication year	2018
Jtitle	三田國文 No.63 (2018. 12)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00296083-20181200--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三 田 國 文

第六十三号

- 『うつほ物語』私見
——仲忠の主人公性は何か——……………高 橋 諒(1)
- 出家前の慶滋保胤の狂言綺語観を再検討する……………李 篠 硯(14)
- 家長日記の成立と家長本新古今和歌集……………太 田 克 也(21)
- 泉鏡花「夫人利生記」論
——図像と信仰——……………富 永 真 樹(33)
- 慶應義塾図書館蔵慶長六年十二月十九日和漢聯句
「堂のすみより」注釈
——新出の直江兼統主催の和漢聯句——……………川 崎 美 穂(47)
- 新出朝倉重賢筆『ちやうりやう』絵巻の本文と解説……………辻 英 子(69)
- 初期漱石における〈信〉の様相
——「文学論ノート」をめぐる——……………伊 藤 節 子(106)

平成三十年十二月